

一般社団法人地盤品質判定士会 中部支部

2025 年度（令和 7 年度）総会

日時：令和 7 年 5 月 23 日（金）15 時 00 分～17 時 00 分

場所：名古屋大学減災連携研究センター（名古屋市千種区不老町名古屋大学内）

現地および WEB 参加によるハイブリッド形式

総会 次第

【総会】（15 時 00～15 時 30 分）

開会あいさつ

地盤品質判定士会中部支部 支部長 千野 克浩

議長選出

審議事項

第 1 号議案 令和 6 年度事業報告（案）について

第 2 号議案 令和 7 年度役員の選出（案）について

第 3 号議案 令和 7 年度事業計画（案）について

閉会あいさつ

地盤品質判定士会中部支部 副支部長 居川 信之

【話題提供】（15 時 30 分～17 時 00 分）45 分（発表 35 分質疑 10 分）2 編

「宅地の地盤相談実績の報告と今後の課題」

植田 博文（地盤品質判定士会中部支部幹事 調査グループ主査）

「東海豪雨から 25 年」

田代 喬（名古屋大学 減災連携研究センター特任教授

ライフライン防災（東邦ガスネットワーク）産学協同研究部門）

【意見交換会】

於：名古屋大学内

会費：4500 円程度（当日お支払い現地にて下さい）

（5/19 追記 5000 円をお願いいたします。事務処理の関係で申し訳ありませんが領収書の発行はできません。）

趣旨：総会開催後、判定士会中部支部と名古屋大学 減災連携研究センター様と今後の連携活動に向けた意見交換会を行います。中部支部役員以外の支部会員の皆様もお気軽にご参加下さい。

総会の申し込みの際に参加の有無をご回答ください。

以上

第1号議案

令和6年度事業報告（案）

地盤品質判定士会中部支部 令和6年度総会 開催報告

開催日時：2024年5月17日（金）15時00分～17時00分

開催場所：名古屋大学減災連携研究センター（名古屋市千種区不老町名古屋大学減災館内）

開催形式：現地・WEB参加ハイブリッド形式

出席者数：現地参加17名・WEB参加7名・委任11名 計35名

審議事項：第1号議案 令和5年度事業報告（案）

第2号議案 令和6年度役員選出（案）

第3号議案 令和6年度事業計画（案）

上記いずれの議案とも承認されました。

話題提供：以下の3題目についてご話題提供いただきました。

「宅地の地盤相談（有償）の対応事例について」地盤品質判定士会中部支部幹事 小嶋 広幸氏

「建築基礎の液状化判定について」地盤品質判定士会中部支部幹事 小山 彰氏

「複数の手法で測定した火山灰質粘性土の透水係数の差異に関する考察」

地盤品質判定士会中部支部幹事 斉藤 倫久氏

地盤品質判定士会中部支部 講演会 開催報告

開催日時：2024年9月27日（金）13時15分～17時00分

開催場所：名古屋大学減災連携研究センター（名古屋市千種区不老町名古屋大学減災館内）

開催形式：現地・WEB参加ハイブリッド形式

テーマ：「地盤・杭構造物に関する最近の話題」

講演1「杭構造物の地震時挙動」金田 一広（千葉工業大学創造工学部都市環境工学科 教授）

講演2「丸太打設による軟弱地盤対策の考え方」沼田 淳紀（ソイルウッド 代表）

講演3「物理探査による地盤の3次元可視化技術」岩本 鋼司

（応用地質株式会社 防災・インフラ事業部）

講演4「秋田能代洋上風力発電の概要説明」新原 雄二

（鹿島建設（株）土木設計本部・構造設計部 構造設計部長）

開催概要：2024年9月27日に地盤品質判定士会中部支部の講演会を開催しました。2024年の開催形式は現地参加とweb参加の両形式とし、合計44名（現地参加12名、WEB参加32名、講師4名）にご参加を頂きました。4名の講師の方をお招きし、貴重な講演を頂きました。

本講演会は、能登半島地震において被害が見られた地盤・杭構造物に着目し、杭構造物の挙動や環境に配慮した杭構造物の施工事例や、杭構造物の調査方法、杭構造物が深くかかわっている洋上風力発電に関する内容でした。

開催後のアンケートでは、各講演内容について中身が濃く、興味の湧く内容であった、いずれの講演も興味を引く、満足のいく内容であった、などのお声を頂きました。

「あいち防災フェスタ」出展

開催日時：2024 年 11 月 10 日（日）10 時～16 時

開催場所：庄内緑地（名古屋市西区山田町大字上小田井字敷地 3527）

出展者：一般社団法人 地盤品質判定士会 中部支部

公益社団法人 地盤工学会 中部支部（共同出展）

展示内容：液状化ぶるる（名古屋大学減災連携研究センターご提供）

地盤と基礎模型（名古屋大学減災連携研究センターご提供）

エキジョッカー、エッキー（名古屋大学減災連携研究センター、向井顧問提供）

パネル展示 4 枚（名古屋大学減災連携研究センターご提供）

パネル展示 3 枚（地盤品質判定士会中部支部提供）

地盤相談（不動産情報ライブラリーHP；国土交通省を活用）

開催概要： 地盤品質判定士会 中部支部が 2024 年 11 月 10 日（日）に名古屋市西区の庄内緑地で開催された「あいち防災フェスタ」に出展いたしました。当日は、たくさんの方に訪れて頂きました。特に、ペットを連れた家族連れが多く、各種実験器具に興味・感心をもたれていました。また、地盤相談会では、お住まいの地域の地盤情報を提供しながら相談者からのいろいろな相談にお答えいたしました。

宅地の地盤相談報告

中部支部・本部ホームページの土地相談ホームページで一般の方からの宅地の地盤相談を受け付けている。令和6年度の相談対応実績を以下に示す。

- ・相談案件数：14 件
- ・本部ホームページより相談：4 件
- ・中部支部ホームページより相談：10 件

相談件数と技術分野（2025/3/13 集計）

市民相談実績調書（25.3.13時点）			2024年度		
支部名： 中部支部			記入者： 植田博文		
1. 相談受付件数			3. 相談内容の技術分野に関する集計（左表①を対象とする）		
処理区分		件数	技術分野	相談内容例	件数
回答完了	回答者を公募で選任		擁壁	擁壁の安定や変状に関する相談	5
	回答者を指名	14	崖・斜面	崖や斜面の変状に関する相談	2
	その他		宅地の沈下	盛土や軟弱地盤の宅地の変状に関する相談	
	①小計	14	家屋等の変状	宅地の変状や近接工事等に伴う家屋等の相談	
未回答	取扱い対象外の相談		家屋等の基礎	家屋基礎選定や補強方法に関する相談	6
	不通・途中取消など		宅地等の陥没・空洞	宅地内等での陥没・空洞に関する相談	
	その他		湧水・浸水	宅地に隣接する箇所からの湧水や豪雨時の浸水に関する相談	
	②小計	0	大規模盛土	大規模盛土造成地全体の安定に関する相談	
相談受付合計（①+②）		14	土地	購入予定地の地盤安定に関する相談	3
注）市民相談会を除く			その他	中部支部24年度協会の公開資料に対する質疑（洪氾層の液状化判定）	1
2. 相談料区分による集計（①の内数）					
相談料区分	件数		合 計		
有償相談	2		17		
無償相談	12				

1）1 件の相談が複数の技術分野に及ぶ場合は、それぞれの分野にカウントしてください。
2）上記の分野以外の相談はその他にカウントし、相談内容を簡潔に記載してください。

令和6年度は中部支部で作成した「宅地の地盤相談に関する基本事項 24.7.19」（以下、「対応基本事項」と記す。）を運用し、相談対応の質とスピードの向上を図った。

- ・「対応基本事項」の運用とともに“相談者への回答書”に対して複数の幹事によるチェック・意見追加等の確認体制が機能し、回答書として一定レベルの品質が確保された。
- ・中部支部は企業等に所属して仕事をする傍らでボランティアとして活動する人員が主体に構成されており、相談案件の増加への対応、ならびに「業務」としての対応が難しい状況である。このため今後は「相談員の増員確保」が課題である。
- ・「対応基本事項」の作成により、中部支部が行う地盤相談の回答水準（アドバイスであること）や、相談員自身のトラブル回避のための免責文などが文書化された。
- ・本部との意見交流により、神奈川支部の「地盤相談マニュアル」の提供を受けた。次年度ではこれを参考に中部支部の「対応基本事項」の更新を検討し、相談者への回答書の質的向上と、相談対応者の作業効率化が課題である。

地盤品質判定士会中部支部 幹事会開催報告

支部活動の運営にあたり幹事会を以下のとおり開催した。2 ヶ月に1回を目安に計6回開催した。なお、幹事会の開催会場を基礎地盤コンサルタンツ株式会社 中部支社殿、国際航業株式会社 中部支社殿にご提供を頂き利用させて頂いた。お礼申し上げます。

- 第1回：2024年 5月31日（金）15時～17時00分 参加15名（うちweb10名）欠席6名
- 第2回：2024年 7月19日（金）15時～16時50分 参加18名（うちweb10名）欠席3名
- 第3回：2023年 9月 5日（木）15時～16時30分 参加17名（うちweb8名）欠席4名
- 第4回：2024年10月29日（火）15時～16時40分 参加13名（うちweb7名）欠席8名
- 第5回：2025年 1月24日（金）15時～17時 参加18名（うちweb10名）欠席3名
- 第6回：2025年 3月14日（金）15時～16時30分 参加15名（うちweb9名）欠席6名

地盤品質判定士検定試験 名古屋会場運営

令和6年10月27日地盤品質判定士検定試験が行われ、中部地域での2回目の試験が実施された。名古屋会場には計21名の受験申し込みがあり、中部支部役員5名で試験会場の運営を行った。

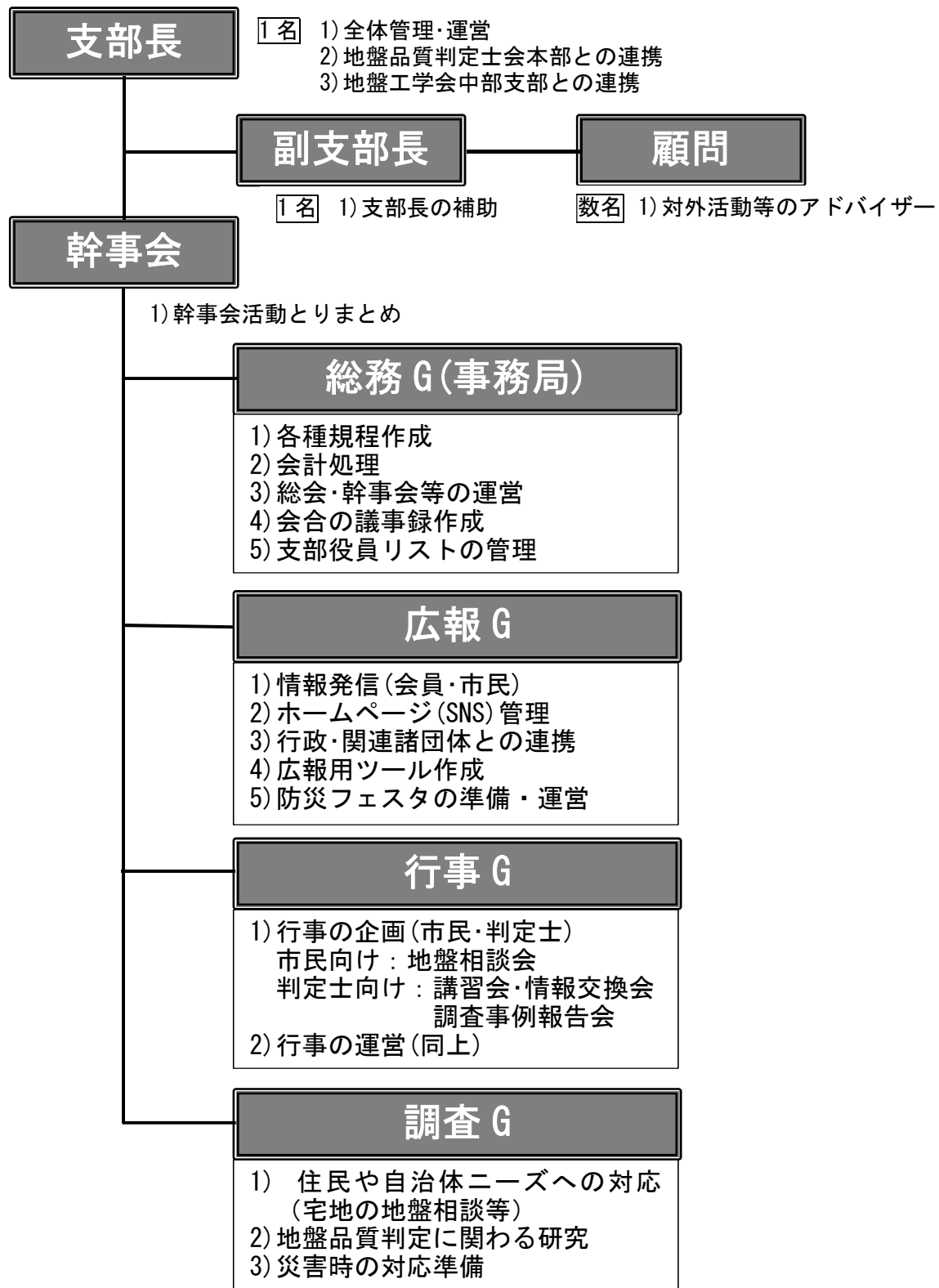
第2号議案

令和7年度役員の選出（案）

役職名	氏名	所属名
支部長	千野 克浩	応用地質（株）
副支部長	居川 信之	（株）エイト日本技術開発
幹事長	桃井 信也	（株）アサノ大成基礎エンジニアリング
顧問	利藤 房男 向井 克之 谷口 一平	応用地質（株） 基礎地盤コンサルタンツ（株） 東邦地水（株）
幹事 （各グループの筆頭者 がグループ主査 2名目が副主査）	長沼 明彦（総務G） 高森 陽一（同上） 小嶋 広幸（広報G） 北林 篤（同上） 倉橋 智（行事G） 堀中 敏弘（同上） 小山 彰（同上） 後藤 弘明（同上） 藤代 祥子（同上） 植田 博文（調査G） 品川 恭一（同上） 金森 聡一郎（同上） 山名 真広（同上）	矢作建設工業（株） 東邦地水（株） 太洋基礎工業（株） ジャパンホームシールド（株） 倉橋建設（株） 国際航業（株） 応用地質（株） （株）イートン 日特建設（株） 不二総合コンサルタント（株） （株）一条工務店 （有）伊勢地撰 基礎地盤コンサルタンツ（株）
幹事（新任）	福島 宏幸 竹田 哲弘 菊地 將太 広瀬 義純	（株）アサノ大成基礎エンジニアリング ヒロセ補強土（株） （株）アサノ大成基礎エンジニアリング （株）アサノ大成基礎エンジニアリング

【参考資料】

地盤品質判定士会中部支部の組織



第3号議案

令和7年度事業計画（案）

■中部支部の事業について(中部支部規約第4条(事業)より抜粋)

本支部は、中部地域で活動する地盤品質判定士の相互支援および資質の向上に努めるとともに、一般市民への啓発を図るとともに、自治体と連携・協働する目的を達成するために、必要に応じて地盤品質判定士会本部と相互協力を行うとともに、第9条に定める幹事会の決議を経て次の事業を行う。

- (1) 市民に対して地盤や宅地に対する知識の啓蒙を行い、具体的な事案に関する相談、助言を行う。
- (2) 管轄する地域の地方公共団体等と交流を行う。
- (3) 判定士相互の意見交換や親睦を図る。
- (4) 講習会、研修会、見学会などを行い、会員の技術向上を図る。
- (5) 建築、土木、法曹関係など関連する諸団体と連携・協働する。
- (6) 地盤品質判定方法の基準化及び見直しを行う。

■事業計画期間

令和7年度(2025年4月1日～2026年3月31日)

■中部支部の事業方針

- ①中部地域(愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、長野県)に密着した宅地地盤の事前防災対策の推進を通じた地域住民の快適な生活環境の維持に寄与
- ②産官学の連携・協働・支援の推進

■中部支部の活動の軸

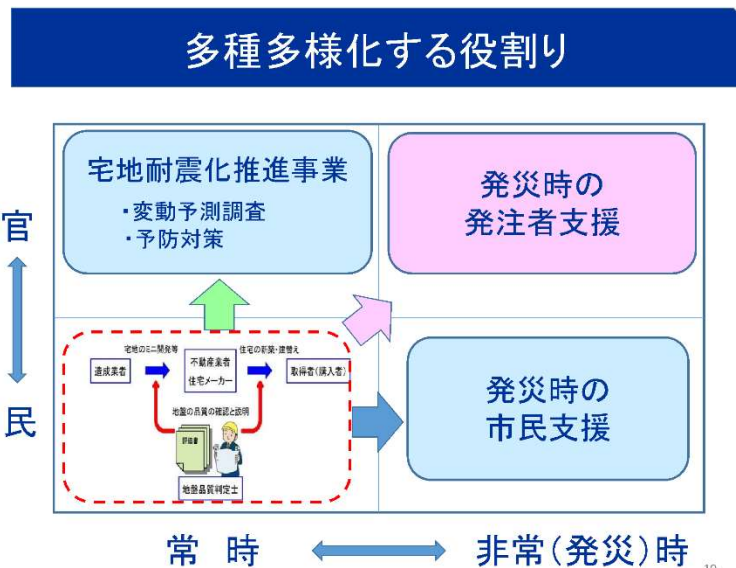
- ・有資格者の資質向上の支援 ⇒行事G
- ・一般市民、行政への宅地地盤に関する啓蒙・広報活動 ⇒広報G
- ・宅地耐震化推進事業・盛土規制法に関する行政の支援⇒調査G
- ・本部、他支部との連携・協働(共催・支援・倫理ガイドラインの検討等) ⇒主に総務G
- ・災害時の社会支援にむけた取り組み ⇒支部全体

令和7年度 年間活動計画

内容	対象	時期
支部総会・講演会	支部会員	5月
技術講演会・発表会(調査・設計・施工)	会員	9月26日 予定
会員サービス(HPによる情報提供)	会員	随時
一般市民向け相談・啓蒙活動	一般	11月 予定
他団体・自治体との連携・支援	学会・自治体	随時
本部・他支部との連携(協賛・災害支援等)	—	随時

■中部支部の中期活動計画

宅地の地盤相談、会員サービス（情報提供・資質向上）に加え様々な取り組みに中期で取り組みます。また既存の取り組みの質を向上してまいります。



(2020 年地盤工学研究発表会 DS セッション小田部氏スライドより)

総務グループ中期活動目標

- ・各種事務作業のシステム化（本部連携による）
- ・マニュアルに基づいた運営、管理

行事グループ中期活動目標

<判定士向け活動>

- ・判定士のスキル向上を図る(現地見学会の企画)。
- ・判定士(相談員)の育成、資質向上を図る（定期的に事例発表会・勉強会を企画）。

<市民向け活動>

- ・盛土規制法にも絡めて自治体等との関係性の強化。
 - ・自治体等とも連携し、市民相談会の開催等による宅地地盤の啓発活動。
- ⇒地盤品質判定士会の社会的認知度の向上

調査グループ中期活動目標

- ・住民や自治体ニーズへの対応（宅地の地盤相談等）
- ・地盤品質判定に関わる研究
- ・災害時の対応準備

広報グループ中期活動目標

- ・事業方針 産官学の連携・協働・支援の推進
- ・活動の軸 一般市民への宅地地盤に関する啓蒙活動、相談窓口

■令和7年度活動計画

令和7年度の具体の活動計画を示します。

総務G活動計画

- ・各種規定作成（支部規約改定、他）
- ・支払処理（各種行事、宅地相談、他）
- ・支部メール対応（行事案内、他）
- ・会合の議事録作成（幹事会）
- ・支部会員リストの管理（会員・幹事の名簿更新、新規幹事募集）
- ・マニュアル類の整備（事務作業手順書の作成、活用）

行事 G 活動計画

- ・2025年9月26日（金） 地盤品質判定士会中部支部講演会
- ・現地見学会、事例発表会、勉強会等の開催を検討
⇒名古屋大学減災連携研究センターとの談話会
- ・自治体との意見交換会等の開催を検討

調査 G 活動計画

- 1) 宅地地盤に関する住民相談
 - ・相談員の増員に対する活動（資格者への勧誘）
 - ・「宅地の地盤相談に関する基本事項」の更新
 - ・関係する諸団体との意見交換・交流
(減災研究センター、覚書締結予定の（公社）地盤工学会中部支部、欠陥住宅被害東海ネットの弁護士・建築士 等・地方公共団体との交流)
- 2) 自治体との交流
 - ・自治体との意見交換実施（連携等自治体要求事項の把握）

広報 G 活動計画

- ・HPの維持管理更新の継続(総会、講習会、防災フェスタの開催報告及び、幹事会議事録の追加更新)
- ・2025年11月頃 あいち防災フェスタ出展、運営、参加報告
- ・出展参加可能なイベントの調査
- ・自治体との協定、連携（出前講座等の活用）の検討
- ・名古屋大学との協働活動の企画

以 上